

令和 4 年 9 月 1 4 日

天塩町議会議長 菊 地 敏 様

総務文教常任委員会  
委員長 国 奥 強

所管事務調査について（報告）

令和 4 年第 1 回天塩町議会定例会において、閉会中の調査許可を得て所管事務調査を実施したので、会議規則第 7 7 条の規定により報告します。

記

1 調査事項

- (1) 更岸地区養浜場について
- (2) 空き家等適正管理計画について
- (3) 天塩町教育委員会事務調査について
  - ①公設民営塾の運営状況について
  - ②社会教育会館の利用状況について

2 調査年月日

令和 4 年 4 月 2 6 日（火）午後 1 時～

3 出席委員

委員長 国 奥 強	委 員 遠 藤 功
副委員長 草 刈 幸 男	委 員 横 山 敦
委 員 渡 辺 修 勝	委 員 山 本 春 光

4 調査結果

今回の調査は、今後の議会審議の参考に資するため、所管に係る事項について調査を実施したものであり、その内容については次のとおりである。

## (1) 更岸地区養浜場について

### (ア) 調査経過

当初、開催予定にはなかったものの、関係者から更岸地区自衛隊水際障害訓練場の強化における保安林の解除等の話があったことから、急遽その調査内容について担当者から聴取を行った。

### (イ) 調査結果及び意見

#### 事業経過

平成 25 年度に防衛省北部方面総監部訓練課教育班から訓練場までの通路拡幅の要望をうけ、更岸地区養浜場整備事業を実施。平成 28 年に関係箇所の保安林解除を申請するが、諸般の事情により平成 29 年保安林解除申請を取り下げる。ただし、近年の情勢の変化により体制も変わってきていることから、町としては事務レベルの段階で再度あたってみたい。

#### 委員会の意見

今の世界情勢から見ると、自衛隊訓練地を確保することは天塩町が活性化するいいタイミングであり、ぜひ積極的に動いてもらいたい。

## (2) 空き家等適正管理計画について

### (ア) 調査経過及び結果

上記、調査内容について担当者から聴取を行った。

#### 空き家の状況

本町の空き家状況は、これまで市街地の空き家数しか調査等を行ってこなかったため平成 30 年度での数値は 29 件であり、令和 2 年度の全町内を対象とした調査の結果、132 件の空き家が確認された。今後高齢化による増加や、都会移住が多く見られることなどを要因に、空き家は年々増加していくと考える。

#### 空き家対策に向けた課題

- 1) 近隣への悪影響（倒壊の危機、環境悪化等）
- 2) 地域全体への悪影響（防災・防犯上の危険、景観悪化等）
- 3) 空き家の増加に伴う地域活力の低下と更なる悪循環（過疎化等）の懸念
- 4) 空き家等の増加に伴う多様な問題の顕在化

## (イ) 委員会の意見

建物を除去したあとの空き地の有効活用や適正管理方法として、町が家主と地主の仲介や所有者と希望者とのマッチングなどを行うとか、民間、NPO の活用など可能性を含めて対策をしてもらいたいし、関係課内におけるチェック機能の連携や本計画も内容的にもっと実効性のあるもので再検討してもらいたい。

## (3) 天塩町教育委員会事務調査について

- ①公設民営塾の運営状況について
- ②社会教育会館の利用状況について

### (ア) 調査経過

上記、調査内容について担当者から聴取を行った。

#### ①公設民営塾の運営状況について

令和元年7月に町内小中学生の学習支援による学力向上と、年々減少傾向にある天塩高校の入学者を増やす取組「天塩高校の魅力づくり」の一環として、天塩高校に通いながら都会で行われている塾講師の授業を、ICT を活用して学びながら大学受験対策を行っていくことを目的に始められた。

現在ほぼ毎日、てしお温泉夕映で実施されており、令和3年度は17人の利用者（うち3年生8人）で国立大1人、私立大4人の実績がある。

4年度は、小中学生については授業中の学習支援、中学生については放課後学習の継続実施に加え、天塩高校内において公設民営塾の開設を行っていく。

#### ②社会教育会館の利用状況について

町内に9箇所ある社会教育会館は、各施設とも老朽化も著しく破損も相続いて生じている。そのうち現在未活用の6施設について、令和4年3月に「天塩町社会教育会館利用希望者募集要項」を策定し、広く募集をかけ公売等を行う。

現在、男能富社会教育会館への申込みが1件あることから6月議会において条例改正し、普通財産化を図っていききたい。

## (イ) 調査結果及び意見

### 委員会の意見

公設民営塾に関しては、学校側もこの制度を積極的に活用し学力の向上に努めてもらいたい。

社会教育会館の利活用に関しては、これからも随時進めていただければと思う。

以上、総務文教常任委員会所管事務調査の報告とします。